

高原に広がる針広混交天然林

設定目的

美ヶ原は長野県松本市、上田市、小県郡長和町にまたがる高原であり、保護林はその北端から東南端に位置しています。

コメツガ、トウヒ、シラビソ、ウラジロモミ等の針葉樹や、ミズナラ、カエデ等の広葉樹から構成される亜高山帯の生物群集を有する森林の保護・管理を一体的に行っています。

地況・林況

美ヶ原の最高峰は王ヶ頭(二、〇三四メートル)であり、日本百名山の一つでもあります。

長野県のほぼ中央に位置していることから、富士山や北・中央・南アルプス、八ヶ岳など広い範囲の峰々を見渡すことができます。

保護林の標高は一、四〇〇〜一、九〇〇間で、冬の寒さは非常に厳しく、零下二十度以下になることも珍しくありません。

周辺は牧場やハイキングコース等に利用されており、景観や高山植物を楽しむことから多くの人に親しまれています。

うつくしがはら
美ヶ原

生物群集保護林

所在地
長野県上田市、小県郡長和町



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。